

①学校名:	関西国際大学大学院		②所在地:	兵庫県三木市志染町青山1丁目18番		
③課程名:	看護学研究科看護学専攻修士課程 専門看護師コース	④正規課程/履修 証明プログラム:	正規課程	⑤開設年月日:	2017/4/1	
⑥責任者:	看護学研究科長 高見沢恵美子	⑦定員:	看護学専攻6名	⑧期間:	2年間	
⑨申請する課程 の目的・概要:	看護学研究科看護学専攻は、看護実践に関する課題を明確にし解決を目指すことができる研究能力と看護実践能力を有する指導的な人材を養成するとともに、それを可能とする学術研究を行うことを目的としている。専門看護師コースは、複雑な健康問題を有する患者を対象に、ケアとキュアを統合し、卓越した直接ケアを提供するとともに、相談、調整、倫理調整、教育、研究を行い、ケアシステム全体を改善することで、看護実践を向上させる高度実践看護師(専門看護師)を養成することを目指している。日本看護系大学協議会高度実践看護師教育課程として認定申請を行った。平成29年2月認定を受け平成29年4月開講予定で準備を進めている。					
⑩4テーマへの 該当の有無	無	⑪履修資格:	4年制大学を卒業したもので、看護師の免許を有し入学時点で1年以上の実務経験を有する者。または、看護師の免許を有し、看護師としての実務経験を積んだ後、本学の定める入学資格審査により、大学を卒業したものと同等以上の学力が有ると認められた者。			
⑫対象とする職 業の種類:	専門看護分野における看護の臨床経験を有する看護師					
⑬身に付けること のできる能力:	(身に付けられる知識、技術、技能) ・専門看護分野の看護に関する知識 ・専門看護分野における高度な実践技術			(得られる能力) ・専門看護師に必要な高度な実践・相談・調整・ 倫理調整・教育・研究能力		
⑭教育課程:	看護研究、看護倫理等の共通科目により専門看護師に必要な基礎的知識を習得する。急性看護学特論、急性看護学援助特論Ⅰ・Ⅱでクリティカルケア看護に関する専門的知識を学修する。急性看護学演習Ⅰ・Ⅱでは、苦痛の緩和及び倫理的問題に関するケーススタディーについてディスカッションし、専門看護師に必要な調整・倫理調整・教育のあり方について双方向の学修を行う。急性看護学実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲで臨床で患者の看護を実施し実践技術を修得すると共に、専門看護師に必要な高度な実践・相談・調整・倫理調整・教育能力を実地で修得する。課題研究で、研究計画書立案・調査を行い課題研究論文としてまとめることにより、専門看護師に必要な研究能力を修得する。					
⑮修了要件(修 了授業時数等):	専門看護師認定基準科目38単位以上の取得、課題研究の提出及び論文審査、最終試験の合格					
⑯修了時に付与さ れる学位・資格等:	修士(看護学)、専門看護師受験資格					
⑰総授業時数:	48単位	⑱要件該当授 業時数:	44単位	実務家 実地 企業 双方向 該 当 要 件	⑲要件該当授業時数 /総授業時数:	92%
⑳成績評価の方法:	プレゼンテーションの内容、ケーススタディー等のレポートの内容、実習評価表に基づいた実践状況、課題研究の内容、口頭試問による最終試験の結果を総合的に判断する。					
㉑自己点検・評 価の方法:	学校教育法第109条第1項に定める評価を実施する。「自己評価委員会」において、PDCAサイクルに沿って本プログラムの成果の検証や評価を行う。					
㉒修了者の状況に 係る効果検証の方 法:	修了生に対し、専門看護師コースの教育内容について意見聴取を行い、就職施設を調査する。また、日本看護協会専門看護師認定試験の、受験率及び合格率を調査することにより効果を検証する。					
㉓企業等の意見 を取り入れる仕 組み:	(教育課程の編成) 実習指導者、病院の教育担当調整者、及び看護学研究科長による打ち合わせや評価会議を行い、教育課程の編成に病院等の意見を取り入れる仕組みを構築している。 (自己点検・評価) 自己評価委員会において自己点検評価を行い、病院看護部長等からの意見を自己点検評価に反映する。					
㉔社会人が受講 しやすい工夫:	集中講義、土曜開講、遠隔講義システムを用いた2キャンパス(三木市・尼崎市)での受講、尼崎キャンパス内に併設している保育園の利用					
㉕ホームページ:	(URL) <a href="http://www.kuins.ac.jp/graduate/graduate_nurse.html">http://www.kuins.ac.jp/graduate/graduate_nurse.html</a>					

事務担当者名:	檜崎輝行	所属部署:	三木キャンパス教務課
連絡先:	(電話番号) 0794-84-3506 (E-mail) gakuji@kuins.ac.jp		